

クルマを楽しむ専門誌

オアズレヨンII

今 お買い得です!

車両価格別おすすめチューニングプラン付き

**10万円の
チャレンジ**

バースタイル

MONTHLY TUNING MAGAZINE

JANUARY 2003

01

500yen

流行るには理由がある!

マイドロマシン全員集合

横浜ゴムの 極端 タイヤテストに潜入!

**新型に負けない VG30&フェアレディZ
FC3SxFD3S OPT2トロフィー競走ワシメイクバトル**

50万円~のベース車を

お買い得



差がつく
ワンポイント
チューン!!

AE86トヨタ・スプリンタートレノ

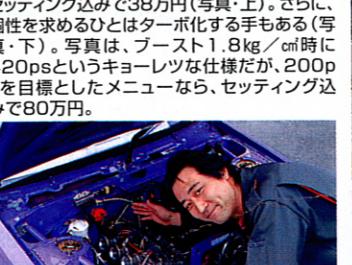
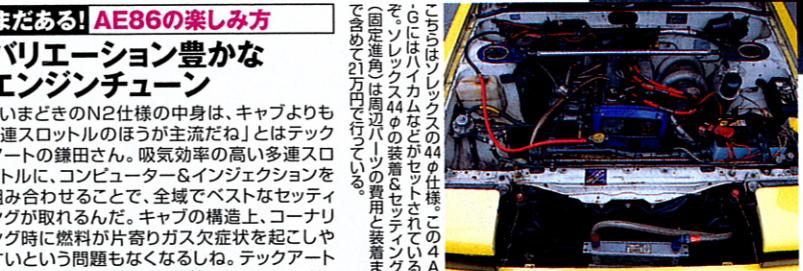
「ハチロク」の呼び名で親しまれているAE86は、6代目のスプリンタートレノとカローラレビン。初の4A-Gエンジン搭載車両だ。また、レビン/トレノシリーズ最後のFR車として、歴史的な名車あつかいもされている。すでにデビューから20年近く経っているにも関わらず、そのスポーツ性能は高く評価され、さらに現在このクラスのFRライトウェイットスポーツが少ないことに、コミック『頭文字D』人気も手伝って、高い人気を保っている。そのため、相場は年式のわりには高め、さらに最近はタマ数も不足して程度のいいものは破格のプレミアムがついているぞ(58ページ参照)。格安物件も探せばあるけど、ベース車として安心して乗れる物件は、グレードに関わらず、50万円程度からと考えて選んだほうがいいかもしれない。

まだある! 50万円~のチューニングベース

- JZS147 トヨタアリスト 平成4年式のNAは50万円から、平成3年式のターボは70万円から探せる。
- NCP13 トヨタヴィッツ 平成11~12年式なら、1300ccの5MTが50~60万円台で見つかる。
- ECR33 日産スカイラインGTS25t R33のタイプMのターボ&MTモデルは、40~60万円あたりに集中している。
- C34 日産ローレル ターボモデルのクラブSが、50万円前後から。ただしマニュアル車の設定がない。
- DE3A 三菱FTO AT/MT、1800cc/2000ccに関わらず、50~70万円前後の物件多数。

まだある! AE86の楽しみ方 バリエーション豊かなエンジンチューン

「いまどきのN2仕様の中身は、キャブよりも4連スロットルのほうが主流だね」とはテックアートの鎌田さん。吸気効率の高い多連スロットルに、コンピューター&インジェクションを組み合わせることで、全域でベストなセッティングが取れるんだ。キャブの構造上、コーナリング時に燃料が片寄りガス欠症状を起こやすいという問題もなくなるし。テックアートオリジナル4スロットルキットを使ったメニューは、セッティング込みで38万円(写真・上)。さらに、個性を求めるひとはターボ化する手もある(写真・下)。写真は、ブースト1.8kg/cm²時に420psというキョーレツな仕様だが、200psを目指としたメニューなら、セッティング込みで80万円。

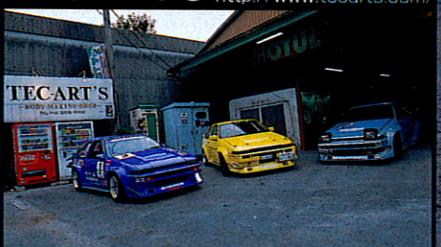


安定していく精密なセッティングが可能。このあたりは、当時のハチロクにはなかったシステムだ。燃料の片寄りによるガス欠症状を防止するため、「レクターナンピューター」で行つことで、キャブ仕様でも高い性能を引き出すことができます。このやりかたが、今後のキャブチューンの主流になっていくんじゃないかな?」とは鎌田さんの見解だ。



N2仕様に仕立てて
ハチロク乗りの夢を形にする!!

ハチロクN2決戦を戦う!埼玉県八潮市浮塚4-1
テックアート発 <http://www.tecarts.com/>



ローンの一例
36回払い 頭金なし
ボーナス払いなし
初回 1万3931円
2回目以降 1万3950円
(総額 50万2181円)

コレを楽しむのにいくらかかる?

- テックアートオリジナルN2エンダー 4万2000円
 - テックアートオリジナルN2リップスポイラー 2万1000円
 - フェンダーカット&取り付け工賃 9万円
 - N2エンダー塗装 6万円
 - ソレックス44φ+インマニ+レギュレーター(セッティング込み) 21万円
- 計 42万3000円~



N2仕様といえば、なにはなくともN2エンダー。「TRDタイプ」などと呼ばれ、各社から発売されている。ちなみに本物は今では入手困難でプレミア品として取り引きされているよ。テックアートでもオリジナルエンダー&リップスポイラーをリリース。

2003年のいま、この値段でハチロクを買おうといふことは、予算や性能で何台か比較検討した結果ではなく「どうしてハチロクが欲しい?」ってひとだろう。それなら、ハチロク乗りの永遠の憧れ、N2仕様に仕上げてみるのはいかがかな? N2仕様とは、1985年にはじまつた「スプリンターカップ」に代表される「ハチロクのワンメイクレース」に参戦していた車両の仕様だ。このレースは、改造範囲のかぎられた「グループA」と外までほとんどなにをやってもOKという「N2」の2クラスで戦われていた。

ユーニング好きに人気があるのはもちろん後で「インバクト」のある前後オーバーフェンダー、NAで200psオーバーという4A-Gチューンが羨望的だったのはもちろん後で「インバクト」のある前後オーバーフェンダー、NAで200psオーバーとい

ヤ、NAで200psオーバーとい

う4A-Gチューンが羨望的だったのはもちろん後で「インバクト」のある前後オーバーフェンダー、NAで200psオーバーとい

ヤ、NAで200psオーバーとい

う4A-Gチューンが羨望的だったのはもちろん後で「インバクト」のある前後オーバーフェンダー、NAで200psオーバーとい



スプリンターカップ出場車両が付けていた、フロントガラスのハチマキ。これもいまどなでは入手困難な一品だが、これがあるのと同じくハチロクの再現性がぜんぶちがうのだ。

改めてN2仕様としてハチロクを仕上げていくオーナーは少なくない。それにともない、N2仕様も平成バージョンに進化を遂げているんだ。写真の2台は、某ビデオの企画として行われている「N2決戦」に出場している「テックアート」のトラン。なんといってもN2ルックの基本は、迫力のN2エンダーにN2リップスポイラーということだ。これはしっかりとおさえている。その後、スプリンターカップ自体は終わってしまったけど、今までN2のスタイルにこだわってサーキットレースを続いているひとや、

戦っていた。その後、スプリンターカップは終りてしまったけど、今までN2のスタイルにこだわってサーキットレースを続いているひとや、

車の200psオーバーを再現(218ps)!「点火系の制御をコントロールで行つことで、キャブ仕様でも高い性能を引き出すことができます。このやりかたが、今後のキャブチューンの主流になっていくんじゃないかな?」と